

みんなの議会

2013年4月
第53号



げんきに 「はーい」

////////// 主な内容 //////////

平成25年第1回定例会議案……………	P 2
議決された意見書……………	P 2
議会懇話会・追跡……………	P 3
町長への一般質問……………	P 4～7
教育長への一般質問……………	P 7
議会の動き	
総務民教常任委員会……………	P 8
産健福祉常任委員会……………	P 9
予算等審査特別委員会……………	P 10～11
みんなの広場……………	P 12
あとがき……………	P 12



共成保育園入園式

平成25年 第1回定例会 3月11~18日



東日本大震災の発生時間に、黙とう。

定例会は1年に4回開かれますが、3月の第1回は新年度の事業が議論され決定する重要な会議です。

平成24年度 ■一般会計 補正予算

12月定例会までの決定 51億1千062万円

■主な補正

ほたる館の追加の赤字補てん	1千267万円
中・北空知廃棄物処理広域連合	1千652万円
数ヶ所の道路の工事を延期	▲4千102万円
消防組合の不正経理の処理	452万円
長期債を予定より早めに返金	1億8千489万円
病院を新築するための積立	1億円
+) その他	2千627万円

補正後 一般会計 54億1千447万円

●不正に税金は使わない
補正された金額は、不正した者を告訴する経費と、不正された金額の穴埋め等です。これらは裁判に勝てば、不正した者から入金されます。消防の不正経理は、沼田の町民や職員の責任ではありません。ですから、町民の税金は使いません。一時立替えとしての支出です。



■新年度の予算が可決

昨年度で、小学校の新築が終了しましたので、今年度は予算が約14億円も下がりました。しかし3千人規模の人口でこの総額は、近隣の町のみならず全国的にも高額の予算で町民の暮らしを支えています。

平成25年度 ■予算 一般会計

40億 円

しっかり精査するために全議員で4日間の「予算等審査特別委員会」を開催。10~11ページに、特集!

老人ホーム	6億2千万円
介護保険	3億3千万円
国民健康保険	5億3千万円
後期高齢者医療	5千万円
+) 水道、下水道	3億5千万円

総額 58億8千万円



議員発議による決議

■北朝鮮の核実験に抗議

2月12日北朝鮮は3回目の核実験を強行しました。

平和な世界を希求する沼田町は平成22年に「非核・平和の町宣言」をしています。よって、沼田町議会は北朝鮮のこのような行為に対し嚴重に抗議しました。

また、このような事象に対する態度表明には即時性が必要なことから、今後はいかなる国の核実験にも議長専決で抗議声明を発することとしました。

議決された意見書

■札幌航空交通管制部の存続要求

現在札幌にある航空交通管制部を廃止する案が浮上しています。沼田町も活用しているドクター・ヘリも含むため、存続・充実を要求しました。

TPPは、議場でも議論!

〈鵜野議員の緊急質問〉
町長は町民や全道の他市町などに呼びかけてTPP反対運動を起こせないか?
安倍首相が、十分に議論の無いままに参加を表明したのは遺憾だ。

■TPP交渉参加表明を撤回せよ

安倍首相は国民の多くが反対しているTPP交渉への参加を表明しました。

農業を含む国の根幹に関わるので、参加表明の撤回と不参加を要求しました。

■国に地方財政の対策を要求
地方が、国の財政再建の犠牲になっています。特に地方の財源である地方交付税の削減に反対しました。

第3回懇話会を行いました

懇話会は地域・団体から要望があればいつでもどこへでも出向いて、議会活動の報告と住民の要望・意見を聞く試みです。

出席された方からは異口同音に「聞いてよかった」「呼んでよかった」という賛辞が聞かれました。ぜひあなたの町内会や所属団体でもご検討下さい。



沼田長生クラブとの懇話会 三月二六日

出席者 沼田長生クラブ 四五名
議会 十名

野会長・杉本議長のあいさつのち、絵内産建委員長を座長に懇話会を行いました。

直近一年間の議会活動の報告を担当議員から行いました。予算委員会について津川委員長から町長への総括質疑の内容を説明し、久保・鶴野両常任副委員長からは、パワーポイントを使って昨年の道外研修の内容を説明しました。

また、議会への質問・要望として、
○ほたる館の民間委託は懸念が多い。施設のメンテナンスも心配。また、議員自らが年間パスポートを購入してはどうか。
○ほたる館従業員の再雇用賃金が大幅に下がった。暮らしていけない給与だ。退職金で上乗せ出来ないか。
○客がいないのにスキー場の照明が点いている。節電してはどうか。
○議会で病院の視察を行っているようだが、厚生病院の将来像が提示されていない。なにをやってるんだ。
○今年も例年以上に雪が多いが、外国から観光客を呼び寄せたり、新築家屋で利用するなど方法を考えてほしい。
などの要望がありました。議会として答弁できるものは、その場で答えましたが、答えられないものは後日文書で回答しました。

第二回臨時議会

一月二三日

■北空知圏学校給食組合議会規約を承認

組合長の選出方法について「首長による選挙の結果、組合長に深川市長が就任するのは良いが、最初から深川市長に固定するのは、広域の組合の思想に反する。沼田町にある広域水

道の組合長も深川市長であり、地元の首長が組合長になる必然性は無い。特に深川消防組合の不正経理が発生している現状では理解しがたい。」として、中村議員と久保議員が反対しました。
採決の結果、賛成7、反対2となり、原案通りに可決しました。

第三回臨時議会

四月五日

■北空知圏学校給食組合議会議員選挙

新・給食組合議会議員に絵内勝己議員を選出しました。また、関連負担金を拠出する補正予算を承認しました。

シリーズ追跡①

24年12月中村保夫議員の一般質問

問 厳寒時の広域停電にどのように対処するか

答 道からの指示もあり、早急に整備する



停電時の非常用電源設備が無いことから、移動電源車からの外部電力受電設備を整備するように検討している。

停電時にどれだけの発電機を確保できるかは確認できていないが、沼田建設業協会と相談していきたい。

停電時における庁舎機能や通信機能について事前確認が必要ですが、まだ実施していない。関係機関の協力を得て事前確認や災害図上訓練についても検討したい。

なお、24年度において、厳寒時広域停電は想定していないが、沼田警察署や北竜町などと合同で災害に対応する訓練を計4回行った。

平成25年度には町民に解り易いハザードマップを作成し、全戸配布する予定です。

(25年4月1日 総務課回答)

各議員の一般質問にどのように対処したかをシリーズで追跡します。

町長への一般質問

問 指定管理者と商工業者について

答 業者とのバランスを構築していきたい



高田 勲
議員

問 ほろしん温泉ほたる館が、四月より大手の民間業者の指定管理になりました。

① 沼田町は指定管理者に町内での物品調達を要望



これからもよろしく願います

しているが、価格面で折り合いがつかず、納入ができなくなった場合の対応等を想定しているのか。

② 都会型の大手小売業者と地方の商店では、取引量が違うため仕入れ価格には歴然とした差があり、商工業者の経営努力だけでは補えない部分があります。対策が必要でないか。

③ 沼田自動車学校が、沼田開発公社により運営されます。バス運行等で民業を圧迫しないように考慮はされるのか。



新しい指定管理者には、従業員の

継続的雇用と、地元商店からの物品の調達の配慮をお願いしています。

更には、商工会からもお願いをしています。

指定管理者も認識しておりますし、それを受けて、

地元業者との打ち合わせをやりたいとの事です。

町としても、地元業者との関係をきちっと構築して頂きたいという話は、十分させて頂いております。

自動車学校については民業を圧泊するようなことに

問 消防団の重要性と団員の減少について

答 地域の安全安心を守るため 消防団は重要です



鵜野 範之
議員

問

大規模な災害をもたらしした東日本大震災において、多くの犠牲を払いながらの消防団活動とその使命感に感銘しました。

沼田町においても、地域の安全と安心を守るため、防災、防火に重要な役割を担っています。

しかしながら、社会環境の変化をうけ、消防団員数の減少、高齢化等、さまざまな問題を抱えています。

は配慮したいと思っております。

ただ、赤字を出すと結局はまた、町民の税金で補填をしなければいけません。

両者のバランスを取り、健全な経営に向けていきたいと思っております。

消防団は重要です

現在、沼田町では条例定数九十五名ですが八十七名で八名欠員との事です。

益々、減少することが考えられ、地域全体の意識として考えなければと思いません。

① 消防団員数の維持が図られる取り組みが必要と思うが、どの様に考えるか。

② 消防団員に対する待遇の改善が図れないか。



地域の安全安心を守るのは、まず初動においては消防団員の重要な仕事かなというふうに思っております。沼田町に

においても、やはりそういった消防団員を確保することは急務であり、私も同じ認識でございます。

今後、事業所や地域の方の理解を頂けるように努力していきたいと思っております。待遇については昨年、改善しております。

これにより全道の平均を上回っている状況でございます。

時代に即した、処遇、待遇、消防団のあり方などを含めて、関係機関と色々と議論をしていきたいと思っております。



安全安心は私達が守る

問 北朝鮮の核実験に 抗議声明をださないのか

答 今後は迅速な態度表明ができるようにしたい



中村 保夫
議員

問 二月十二日、北朝鮮が国際世論を振り切る形で核実験を強行しました。誠にけしからんことだと思えます。

沼田町は二十二年三月に「非核平和の町宣言」をしております。

これは、議員の一般質問を受けて、当時の総務課長が提案をし、町長が提案をし、全会一致で可決された宣言です。

しかるに、この北朝鮮の暴挙に対して、沼田町として何も意見表明をしていません。

町長はこの核実験を容認したのか、黙認したのか伺う。



ご指摘のとおり、今回の北朝鮮の核実験に対して町としてのアクションは何も起こしていません。

今にして思えば、認識・配慮が足りなかったと思いますが、しかし容認・黙認したわけではありません。今後は議会とも相談のうえ、迅速な対応がとれるようにしていきます。

非核・平和の町宣言 平成22年3月9日宣言

我が国は、世界で唯一の被爆国であり、世界平和と核兵器の廃絶は、日本国憲法がかかげる平和の理念に基づく私たち国民の切なる願いです。
この美しいふるさとを守り、平和な未来を子供たちに引き継ぐため、私たち沼田町民は、恒久平和の実現を願い、非核三原則の堅持と核兵器廃絶を求めて、ここに「非核・平和の町」を宣言します。

問 交通安全のために 旗や看板などで注意喚起を

答 点検や補修を行い道路の安全を確保していく



上野 敏夫
議員

問 町内には交通安全上危険な箇所が見えます。

これらを解消するための工事は急には無理でしょうから、旗や看板などで注意喚起してほしい。

また、交通監視所を作つて交通事故に遭わない町づくりをすべきだと思つた。

更には、郵便局や農協の駐車場付近で物損事故が頻発しているの、何らかの対応を考えてほしい。

昨年交通事故死ゼロ五千日が途絶えてしまふ残念です。

国道や道道の改良は事故等のある度に改善しています。例えば今年旭町で国道の線形改良の調査に入り

ます。

町道においても、点検や補修を行い、道路の安全を確保していきます。

交通監視所は平成十年ころ廃止しました。新たな監視所については交通安全協会や防犯協会と協議しましたが、維持管理などが難しく設置に到っておりません。

郵便局や農協などの事業者の駐車場に直接の指導は出来ませんが、要請をしています。

しかし、あくまでも安全運転の注意義務は運転者にあるわけですので、ご理解頂きたいと思つています。

傍聴席の生の声

初めての傍聴ですが、緊張感のある質疑応答の中にも馴れ合いの感も。

傍聴席の生の声

定例議会の前に「町民ふれあい懇談会」をしてほしかった。

傍聴席の生の声

ほたる館関連の質問は1議員だけでした。町民は殆んど知らないようです。もっと議論してよかったですのではないか。



今回の定例議会の傍聴者は、16名でした。

みなさまの傍聴を待っています。お気軽に、ご来場下さい。

**問 旧・沼田中学校あと地を活用し
沼田町の未来を創るべきではないか**

答 公営住宅や様々な施設を集める



久保元宏
議員

問 沼田町の財産である広大な旧・沼田中学校あと地を未来のために、どのように活用するのか。

- ① 新年度の予算の『あと地利用』七百二十四万円は、何に使うのか。
- ② 住宅のそばに福祉施設なども配置し、有機的な連携を築くのか。

- ③ 除雪の簡易化や低層住宅、防災公園などのアイデアはあるのか。
- ④ 政策推進室に一年間、どのような調査をさせ、報告を受けたのか。
- ⑤ 主導権はコンサルタン

トではなく町長にある。コンサルタンの報告が出なければスケジュールが組めないのは順番が違うのではないか。



① 政策推進室が一年かけた検討をもとに外部のコンサル



広い空間で『雪フェス』が行われ、雪合戦などで盛り上がりました。

▲3月10日、旧・中学校あと地にて

問 今回の、町長の執行方針の中に、「沼田の町づくりを支える要素は、人づくりであり、そのためのリーダー養成に取り組み」とあります。

今、若い世代の交流を見ると、組織、職場等の交流が主で、組織を超えた集まり「ゆきものがかり」のような、連帯感のあるサークルが、



長原誠
議員

**問 独身世代が交流、参加できるイベントを
答 若い世代の自主的な活動に期待したい**

- ① タントが土地利用や経費を調査する。
- ② 旭町や西町、南町に分散している公営住宅を、ここへ集め、さらに色々な施設も機能的に配置して、効率的で利便性の高い街並みを作る。
- ③ 除雪がしやすく、雪や緑などを有効に活用できるように、町民からもアイ

- ④ デイアを集める。
- ⑤ 具体的な細かい計画はできていない。コンサルタントからいつ報告があるかも決まっていない。
- ⑥ まだ長期的な計画は、できていない。今年度はまず沼田町の財源の範囲で、優先的に整備できる施設を決める具体的な調査に入りたい。

多く出来る事が望まれます。若い世代が参加、交流できるイベントを通じ、仲間づくりも深まり、男女の交流にもなり、次のリーダーにもつながると思います。組織を超えた、独身世代が交流できるイベントができないか、町長の考えを伺いたい。

人口が減少する中、青年層も減少していますが、その中で年越しの『温故知新』にはじまり、三月には『輝け雪の町フェスタ』、六月に『雪

夏祭』、八月に『あんどん祭り』等、沼田は既存の行事も多くあり、年間を通して若い人達に頑張ってもらっているのが現状であります。議員の言うサークル、イベントの必要性は理解できますが、自発的に活動するものでなければ長続きしません。

そうした自発的な、グループ、イベント等の活動に期待し、何らかの支援を考えた。



4月12日に正式発足した『ゆきものがかり』

問「持続可能なまちづくり」の考えとは

答 三本の重点施策を中心に進めたい



渡辺 敏昭
議員

問 町長が目指す「持続可能なまちづくり」には、人口減少は最大の課題であると思います。

この事をどう捉えているか、第五次総合振興計画の策定にあたっての考え方を伺いたい。

また、中学生までの医療無料化、高校生通学費助成等、数々の助成等を行っているが、子育て、保育等には思い切った施策を行い、保育料の無料化、病院の小児科設置等、人口増加のための施策を考えてはどうか伺いたい。

基本として、「元気な高齢者の町を作る」「地域の産業を興す」「子育て世代の支援」の三つの柱を重点的戦略として取組んでいきたい。

その施策としては今後とも取り組まなければならない事業がたくさんあります。

しかし、沼田町も、いつまでも財政的に余裕がある町ではありません。

人口が減少してゆく中、さらに交付税も減少してゆきます。

その財源をいかに確保してゆくかが大きな問題です。沼田町を残してゆくためには全体を見ながら、財政等、バランスを考えて効果的な施策を展開し、平成二十五年度以降の状況を見ながら取組んで行きたい。

教育長への一般質問

問 新・給食組合で

アレルギー対応をできないか

答 今後の議論の場にのせていきたい



絵内 勝己
議員

問 この十年、二十年間にあつて、食物アレルギーは増加の一途をたどっております。

日本に限ったことではなく、先進国を中心として社会問題になっていきます。食物アレルギーは、特に、一歳未満の乳幼児、小学生、中学生等が過剰反応を示し、不利益な症状を起すと言われるております。

今回、給食事業の広域化について、平成二十七年開業に向け準備が本格化します。指針で

は「食に関する生きた教材として魅力ある学校給食作りを目指す」となっていますが、是非ともアレルギー対応の給食に取り組むべきと考えます。教育長の考えを伺いたい。

教育長

私どもの町にある北空知学校給食組合の四町で、計四十人の食物アレルギーがあると言われています。

全国では二・六%、北海道では四%です。

新しい給食センターでは、二千二百食の数ですので、百人程度のアレルギーがあると予測されます。

アレルギーの原因となる物質というのは多岐に渡っており、卵、乳製品、小麦、そば、魚、果物、大豆等、様々なものがあります。

給食に於いて、一人、一人への対応を行う事は大変

な作業になってくると思います。

アレルギー対応の給食を導入するには設備や人員の体制など多くの対策をする必要があります。そして誤った対応をすると人の命に係わる問題になります。

ただ、新しく始まる給食事業でありますので、学校、PTA、各組織等と議論の場に載せていきたいと思っています。



沼田を担う子供達



平成27年3月で終了する北空知給食センター

総務民教常任委員会

所管事務調査報告

調査項目 ● 地域防災について

2004年 新潟県・中越地震、

2007年 新潟県・中越沖地震、

2011年 東日本大震災……。多くの尊い人命が犠牲となられた、これらの事例に学び、地域住民の生命と財産を守るためにも、沼田町も実践的な防災システムの早期確立が必要と考え、現地での調査などの結果、次の4点の意見を報告いたします。



委員長 高田 勲
副委員長 久保元宏
委員 津川 均
中村保夫
長原 誠

意見

1. 災害に即応できる体制の構築

本町において想定される災害ごとに一定の基準を定め、その基準を超えた場合には対策本部が自動的に設置され、各部門が連携して行動できる体制づくりが必要である。



宮城県・松島町では、3・11地震の翌日から毎日2回の災害対策会議が開かれた。



新潟県・柏崎市の北条町内会には、発電機、投光器が完備されている。

2. 非常用電源の確保

災害により電源が喪失した場合に備え、災害対策本部と避難所には照明と暖房をまかなえる発電機等の用意が必要である。これらは全てを行政で用意することが望ましいが、民間企業の力も借りながら早急に確保すべきである。

3. 自主防災組織の設置

行政区単位に自主防災組織を設置すべきである。自主防災組織は、災害発生時に住民の安否確認や要援護者を避難誘導するなど、行政の手の行き届かない部分を補完するために必要な組織である。地域では、日頃から避難場所や避難所の周知等の啓蒙活動をはじめ、子供からお年寄りまで含めた町内会活動を行い、災害時には全員が組織としてすぐに対応できるよう、普段から地域コミュニティーを図るべきである。

行政も組織の結成を推進するため、防災トランシーバーの提供など環境整備をすべきである。

災害時要援護者登録申請書兼台帳			
申請年月日		年 月 日	
氏名	性別	電話番号	生年月日
住所	男・女		年 月 日
住居	〒	町	丁目
登録理由	① 一人暮らし高齢者 ② 高齢者世帯 ③ 在宅の要介護高齢者 ④ 身体障がい者 ⑤ 知的障がい者 ⑥ その他保護を必要としている方		
緊急時家族等の連絡先			
ふりがな	性別	電話番号	登録者との関係
氏名	男・女		
住所	〒		
ふりがな	性別	電話番号	登録者との関係
氏名	男・女		
住所	〒		
隣三軒両隣の支援			
氏名	住所	登録者との関係	電話番号

新潟県・柏崎市の松美町内会の災害時に助けるべき人の名簿。

4. 防災会議・防災訓練の実施

宮城県・多賀城市は地元の自衛隊を含む参加型の防災会議や訓練を実施。

行政と自主防災組織に加え、警察や消防・医療機関等を含めた防災会議を実施し、防災計画の確認や総合防災訓練を含めた啓蒙活動を推進するための計画を策定し、定期的実施すべきである。



災害は、必ずやってきます。確実に。その日のために! 8

産建福祉常任委員会

所管事務調査報告

調査項目 ● 福祉環境について



委員 長 絵内勝己
副委員 長 鶴野範之
委員 津川均
上野敏夫
渡辺敏昭

本町の、高齢者人口（六十五歳以上）は千二百九十五人で高齢化率は三十六％であり今後も率は上がり続け、十年後には高齢化率が四十三％以上となることが考えられます。

こうした時代を迎え、高齢者が住み慣れた地域で、最後まで安心して暮らし続けられる環境整備が必要と考え、現状と課題を調査しました。

本町の高齢者施設の様子は、和風園（定員百人・待機者十人）、旭寿園（定員八十人・待機者四十人）グループホームなごみ（定員九人）デイサービス（定員二〇人）であります。

委員会では、さらに充実を図るうえで、在宅介護サービスと小規模多機能型居宅介護や、福祉住宅などの整備を進めるべきと、意見をまとめました。

以下の意見を付し、調査報告といたします。



北名古屋市での回想法

年を取った
め、出しゃばらず、
憎まれ口には、泣きごとに、
人のかけ口、愚痴いわず、
他人の事は、誉めなはれ、聞
かれりや、厭えてあげても、
知ってる事でも、知らんあり
いつでも、アホでいるこっ
ちや.....

老人の一言

意見

- (1) 介護施設に入所する前に、在宅で受けられるサービスの充実を図ることが必要と思われる。実際には高齢者を在宅で支えるには、家族の仕事と介護が両立できなければならず、そのためには、小規模多機能型居宅介護などの整備を進め、家族が安心して生活できる環境を整えるべきである。
- (2) 厚生労働省では、高齢夫婦世帯や独居世帯を支えていくための仕組みづくりとして、「地域包括ケアシステム」という言葉で、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」、「住まい」の5つの要素が包括的・継続的に行われることであるが、とりわけ住宅政策が重要と考えます。今後、福祉住宅の整備や、高齢者が暮らす公営住宅の建替えの際には、小規模多機能型居宅介護を併設して、いつでも介護保険サービスが受けられたり、配食サービスや安否確認システムが利用できるなど、安心して安全な福祉環境の整備が包括的に進めることが必要である。
- (3) 今後、福祉環境の整備に当たっては、全て行政主導ではなく民間企業との連携や地元起業者の育成や支援も併せて進めていくべきである。

平成25年度 予算等審査特別委員会

3月12日～15日

委員長 津川 均
副委員長 長原 誠

一般会計 40.0億円
特別会計 18.8億円
総 額 58.8億円

平成二十五年度予算が、三月十一日の第一回定例会に於いて、予算等審査特別委員会に付託され、その委員会に於いて、三月十二日から十五日にかけて、審査されました。

付託された案件は、条例改正九件、予算九件で、一般会計予算総額四十億円（前年度比十六、七%減）、特別会計十八億円、総額五十八億円の執行予算の審査です。

審査特別委員会に於いて、二点の意見を付し、全案件承認しました。

付した意見

職員のマンパワー不足について

地域担当職員制度など、新しい取組は評価できるところだが、一部の職員に過度な負担が掛からない様、勤務体制に十分配慮されることを切に望みます。

沼田町の事業発信について

移住定住応援事業及び子育て支援事業については、町民向けが主となっており、今後移住を推進するため、町外に向けて、一層のインパクトある情報発信を求めます。

又、予約制乗合バス実証運行については、高齢者等利用者に十分説明し分かりやすいものにするよう望みます。

今年の仕事と予算

今年度は重点施策として、次の仕事を行います。

☆ 住宅市街地の整備方針等地域の特性に合った土地利用と住宅施策を目指します。

☆ 教員住宅群の再整備を行い、教員の町内居住を目指します。

☆ 沼田小学校改築グラウンド整備を推進します。

☆ 役場庁舎・消防庁舎の耐震改修を実施します。

☆ 幼保一元化（認定こども園）の実現に向け、環境整備に着手します。

☆ 安心安全な製品作りを基本に生産性の向上や増産のため、加工場の新築を進めます。

☆ 十年後も持続可能な沼田農業の発展を目指して「農業総合対策室」を設置します。

☆ 指定管理を見直し新たな受託事業者で温泉運営を行います。

今年の主な新規事業

旧中学校跡地利用基本計画策定 七二五万円

デマンドバス実証運行 二六三万円

役場庁舎耐震事業 七千八二五万円

消防庁舎改修（負担金） 三千四二二万円

認定こども園事業 一千四二八万円

農業用水路改修事業 三千七〇〇万円

国営造成土地改良施設整備事業 二千五七九万円

農産加工場整備事業 一千八五九万円

沼田中学校暖房設備事業 四千三三三万円

教員住宅整備事業 二千九九八万円

宿泊棟改修事業 二千二七九万円

小学校グラウンド整備 一億五千二二八万円

総括質問

各担当課から、事業、予算の説明が行われ、それらの中から総括質問として十件を再質問しました。付した意見以外の質問は次のとおりです。

政策推進室の在り方

Q▼政策推進室に期待をしていたが、昨年の「健康」というテーマは分りやすかったが、今年は政策が見当たらない。推進室は、各課の調整役なのか、コーディネイターなのか、羅針盤なのか。

A▼政策推進室について、十分に説明が出来ていなかった。

本年は、重点として、「超元気な高齢者戦略」、「子育て満足度日本一の町づくり」、「地域産業づくり」を三本柱として取り組みたい。

緊急利子事業の継続

Q▼商工業者に対する緊急

利子補給は、制度融資を始めて五年経過し、商工業者は大変助かっています。

この事業、今のところ実施予定がないと聞くが、資金繰りには大変苦労しているところから、以前のように当初予算で組んでいただきたい。

A▼平成二十年より、補正で組んできました。今後はばら撒き政策ではなく、実効性のある事業を模索していきたい。消費税も上がりますので、商工会と今後打ち合わせしていきたい。

沼田町観光大使の明確化

Q▼沼田町出身の歌手・細坪基佳さんに観光大使を依頼しましたが、経費は出していないとの事。特産品等を贈り、沼田のPRの経費を予算化すべきではないか。

A▼観光大使への予算化について、考えたい。



農業総合対策室の実効性

Q▼この対策室が十分に機能出来るのか、過去にJAに派遣した経緯があるが、農業政策の中心的機能が多分であつた様だ。農業者が頼りになる組織になるよう実効性のある対策室にしてほしい。

A▼この対策室には、道からの派遣職員と農業改良普及員の退職者が加わります。主な事業は担い手、新規就農等、ポイントを絞り、農業組織と協議し、進めたい。

体育館宿泊棟終了と新たな宿泊施設

Q▼旧道路開発事務所が新たな宿泊施設になります。

利用者に使いやすいものにし、お年寄りやスポーツ関係者の利用が主となるので、ストレッチ器具の設置も考えてはどうか。

A▼内部の老朽化の改修、と厨房も衛生的なものにします。

時期をみながら、写真、

パンフを配布し利用拡大に努めたい。



旧道路開発事務所

夜間急病テレフォンセンターの対応

Q▼平成二十四年度から実施されているが、対応が充分なされているのか。

A▼救急テレフォンは、警備会社が電話を受け看護師に回すしくみです。緊急時

夜間急病テレフォンセンター
PM5:00~AM8:30
TEL0164-22-4100

での速やかな対応を要請します。

より二層の雪の取組み

Q▼雪の取組みについて、昨年イベントが主体になっており、今後は観光の分野だけではなく、産業としての雪の取組が必要で、戦略的な予算をつけ取組んでいかかか。

A▼雪を農業に利用する専門家がいなのは課題です。四月から、元普及員も農業総合対策室に来ますので、より戦略的に取り組みたい。



準備が完了した雪山センター

沼田町議会の大先輩が榮譽

沼田町議会の大先輩であり恩人ともいえるお二方が榮譽に浴しました。上机栄氏は五期二十年間議員を勤められ、二期八年間は議長としてその敏腕を振るわれました。その功が認められ旭日双光章を受賞されました。橋場守氏は、延べ九期三十六年間議員を勤めら

れ、初代の広報委員長として「みんなの議会」を創刊し、二度にわたり全道表彰を受けるまでに育てて頂きました。その功が認められ、北海道社会貢献賞を受賞されました。お二方もご壮健で、まだまだ私たち現職議員にご指導いただくように期待しております。



そして3月9日。350人のご来場をいただき、上演。あの時、沼田喜三郎さんと関わった人々の魂が私に降りてきた。「喜三郎が開墾の指導をした地区を沼田村、のちの沼田町と命名した・・・」涙をこらえながら読み上げた感動は私の宝になった。支え応援してくれたすべての皆さんの力の結集。震災の義援金も目標額を大きく超えた。こんな温かい元気な沼田町を誇りに思う。

夢はNHKの大河ドラマ化。最低でも2時間ドラマ化。沼田町の皆さん、夢をアイデアを話してください。私は、皆さんと沼田の物語をつなげ、広げたいのです。

あとがき

人は幸せ探しの旅人です。人それぞれに幸せの基準は違いますが、確かに幸せを探して私も歩いてきました。それでは、幸せって一体なんなのでしょうか。一説では、「他人との比較によって生じる感情」とあります。つまり、「他人より愛されているから幸せ」「人よりやすらかだから幸せ」「他人よりお金があるから幸せ」・・・となります。

じゃあ、「他人とは誰なのだ」という疑問にぶつかります。億万長者と比較したって、一生幸せには成れないことになります。

なにか禅問答のようになってきましたが、沼田町民の幸せ探しのお手伝いをするようになってから多くの年月が流れました。しかし、この旅には到達点がありません。私達の旅はまだ終わらない。

広報特別委員

中村保夫 長原 誠
鶴野範之 久保元宏

みんなの広場



イラスト 久保

話す・つながる・広がる物語 ～紙芝居『沼田喜三郎』～

沼田中学校 校長 **長野時敏**

「紙芝居、作ったらいいわ。」・・・私が2011年に小矢部市に行った時に、そこで生まれて沼田町を築いた沼田喜三郎(1834年3月～1923年12月)さんの生涯を知り、沼田町に戻ってから興奮しながら話した時、別々の場所で沼田晴子さんと馬狩良光さんから返ってきた言葉、それが始まりだった。

初演は2012年3月、沼田中学校での校長講話。心優しい3年生26名が聴いてくれた。さらに、町内の焼き鳥屋『のらくろ』でデューク・エイセスの大須賀ひできさんと出会う。酔った勢いで紙芝居のPR。大須賀さんが進めている『沼田化石ミュージカル』実行委員会での発表へと進む。自信をつけて6月、町内の焼肉屋『沼田大門』でオヤジ5人に発表。しかし、飲み食いに夢中のためか？ほとんど無視。しかも強烈なダメ出し。「字が多い！絵が少ない！」恐るべしオヤジの眼力、核心を突いていた。「なにくそ！」が、発憤材料となる。思い切って言葉を削りスリム化、場面の細分化により、絵を22枚から30枚に増やした。

8月、小矢部市から交流事業で石動中学校が来町。彼らにバスの中で披露。その他、各所で好評をいただく。私は進化する紙芝居に、不思議な魅力を感じていた。沼田喜三郎さんの魅力、ダイナミックな歴史の秘話などを知った人々が、つながり、広がる。すでに私の手を離れ大きくなっていった。

3月の震災チャリティー『音楽のつどい』で、この紙芝居のスライド・ショーをやる。言い出しっぺは菅原瑞枝さん。やろう！スライド、音楽などの課題を次々と具現化する沼田町の人材・ヒーローが面白いように現れた。



紙芝居を熱演する長野校長